

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
基本事業 03 食育の推進
主管課： 保健センター
関係課： 指導室、児童福祉課、学校教育課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が、食に関する正しい知識を身に付け、食事や栄養に気を付けることができるようにする。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

主食、主菜、副菜のそろった食事をとる市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
56.20	52.20	52.70	54.20	55.60	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 主食・主菜・副菜のそろった食事を取っている市民の割合は、昨年度と比較して0.6ポイントの微増となりました。 (原因) まちづくり市民アンケートの結果、前年と比較し「主食・主菜・副菜のそろった食事を取っている」10代は12.1ポイント、20代は5.9ポイント割合が上昇していますが、50代が2.1ポイント、65～69歳が2.6ポイント低下しています。今後も、第2次食育推進計画に基づき各世代への周知を行っていく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

塩分を控えている市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
37.20	37.30	38.30	38.60	39.00	40.00
向上指針	上がると良い	(状況) 塩分を控えている市民の割合は、基準値と比較して1.1ポイント増加しました。 (原因) まちづくり市民アンケートの結果、60歳以上は塩分を控えている割合が高いが、20代から50代については、12.4%から32.8%と低い状況であり、各世代への減塩の必要性を周知する必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

朝食を食べている児童生徒の割合 (%) 指導室					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
97.90	95.80	95.70	96.50	97.00	98.00
向上指針	上がると良い	(状況) 児童生徒の朝食を取る割合は、昨年度比で微減、基準値からは2.1%減少となり、目標値達成まで2.3%の状況です。 (原因) 食育推進計画策定後の平成25年度以降、朝食摂取の割合は、ほぼ横ばい状況です。市内の全小中学校において推進している、守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の生活スキルとして、「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を徹底していく必要があります。特に、受験を控えた中学3年生の数値が他の学年よりも低いので、学力の向上と朝食の関係を丁寧に指導する必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	1,417	1,426	2,781	1,962	752
人件費	0	0	9,394	0	0
トータルコスト	1,417	1,426	12,175	1,962	752

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

守谷市食育推進計画に基づき、各課、関係機関、食生活改善推進員等との協働で、保育園、幼稚園、学校、児童クラブ、地域等で食育事業を推進しています。このことから、幼児から学童・生徒への取組み事業数も増加しています。平成29年度からは第二次食育推進計画に基づき、各世代への食育の意識付けについて、検討する必要があります。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]